

登録コード	T5023200	開講年度	2026				
授業科目	建築・デザイン工学設計製図（16T以降）				担当教員	羽藤 広輔 他	
英文授業名	Architectural Design and Drawing 2				副担当	諏訪田 晴彦・佐倉 弘祐・南 健斗	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限	対象学生	建築学科2年生
講義室	工C3-103教室 工E3-301製図室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2.5Tカリ、2.3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				建築設計に関する基礎知識が理解できている。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				与えられた条件のもとで建築の設計をまとめ、表現することができる。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				建築を設計する際に、主体的に課題を見つけることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	最も身近な人間の行為である、住むことと働くことを営む建築環境としての住宅とオフィスの設計を行う。 担当教員が建築設計の実務経験を活かして講義を行う。 この授業に出席し、積極的に学んだ学生は次のことを理解する。 ・設計上の計画・構造・設備に関する知識 ・設計上の配置計画・平面計画・断面計画・立面計画・パースの作成方法 ・建築模型の作成方法 ・完成作品を説明するためのプレゼンテーション方法						
(5)授業計画	第1回 課題説明（住宅）（敷地見学を行う場合がある）、夏季課題チェック 第2回 計画・構造・設備に関する説明 第3回 エスキス1（テーマシート・ゾーニング・パース） 第4回 エスキス2（配置計画・平面計画・パース） 第5回 エスキス3（配置計画・平面計画・断面計画・立面計画、パース） 第6回 エスキス4（配置計画・平面計画・断面計画・立面計画、パース） 第7回 図面・模型のチェック・トレース（オフィス）の説明 第8回 講評会（住宅） 第9回 課題説明（オフィス）（敷地見学を行う場合がある）、トレース（オフィス）のチェック、計画・構造・設備に関する説明 第10回 エスキス1（テーマシート・ゾーニング・パース） 第11回 エスキス2（配置計画・平面計画・断面計画・パース） 第12回 エスキス3（配置計画・平面計画・断面計画・立面計画、パース） 第13回 エスキス4（配置計画・平面計画・断面計画・立面計画、パース） 第14回 図面・模型のチェック 第15回 講評会（オフィス）、授業アンケート実施 （＊）授業日程に変更がある場合は授業中や掲示等でアナウンスする						
(6)成績評価の方法	住宅とオフィスの課題に関するそれぞれのエスキス時の達成度と作品（図面・模型）の完成度で評価する。その他、夏季課題、トレースについても成績の対象とする。出欠については、名簿の読み上げにより確認する。						
(7)成績評価の基準	（1）設計課題に対する建築的な提案が示されており、（2）提案の内容を伝える作品（図面・模型）が正確に制作されており、（3）作品が独創的で敷地の環境に適したものとなっており、（4）作品の表現が魅力的で、かつ、（5）全体的に教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。4項目までできていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。次の回には、この課題に対するチェックを行う。						
(9)履修上の注意	建築・デザイン工学設計製図 の履修を終えていることが望ましい。						
(10)質問、相談への対応	授業後、あるいは、メール（khato@shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける。						
(11)その他	本授業はアクティブ・ラーニングによる学習法が含まれており、学修者の能動的学修による汎用的能力の育成も図る。						
【教科書】	コンパクト建築設計資料集成 日本建築学会編（4,800円＋税）						
【参考書】	指定しない						